

令和7年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立釜子小学校長

令和7年4月17日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数、理科の3教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部分であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均 正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	66.8%					○
算数	58.0%	○				
理科	57.1%					○

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	76.9%					○
情報の扱い方に関する事項	63.1%					○
我が国の言語文化に関する事項	81.2%					○
話すこと・聞くこと	66.3%	○				
書くこと	69.5%					○
読むこと	57.5%					○

【考 察】

- 多くの領域で全国平均を上回りました。特に、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができるかをみる問題がよくできていました。授業の中で、世代に特有の言葉遣いがあることを取り上げて学習した成果です。
- 「話すこと・聞くこと」では、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめるという問題に課題が見られました。インタビューをする前に、自分が知りたいことや疑問に思っていることを整理したり、相手の答えを予想したりして準備することができるように指導していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	62.3%	○				
図 形	56.2%	○				
測 定	54.8%	○				
変化と関係	57.5%	○				
データの活用	62.6%	○				

【考 察】

- 「図形」の領域では、正しい台形を選択したり、多角形の面積の求め方を記述したりする問題に課題が見られました。図形の意味や性質について説明したり、多角形の面積を求める際に、面積の求め方を知っている図形を見いだして、面積の求め方を考えたりする活動を授業の中で実践していきます。
- 「変化と関係」の領域では、「10%増量」の意味を解釈し、「増量後の量」が「増量前の量」の何倍になっているかを求めることに課題が見られました。授業の中で、言葉や図、式を関連付けながら数量の関係を考えられるように指導していきます。

【理科：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領 域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
エネルギー	46.7%					○
粒 子	51.4%					○
生 命	52.0%					○
地 球	66.7%					○

【考 察】

- 全ての領域で全国平均を上回りました。特に、「エネルギー」の領域での電磁石の強さはコイルの巻数によって変わることや乾電池のつなぎ方の直列つなぎに関して、よく理解されていました。観察、実験の結果や結論を、図に整理したり、言葉で説明し合ったりするなどしたことが、知識の定着につながったと考えられます。
- 「粒子」の領域では、水の性質に関する問題において、水の温まり方や温度による水の状態の変化などについては理解できていましたが、海面水位の上昇した理由を予想して表現することに課題が見られました。今後は、学習内容を他の学習や生活と関連付ける応用的な学習を取り入れながら指導していきます。

令和7年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立釜子小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小	全 国	32.6	49.1	15.3	2.8
6	釜子小	28.6	64.3	7.1	0.0

(単位 %)

【考 察】

- ほとんどの児童が肯定的な回答をしました。授業の中では、まず自分で考えてから、友達と交流するようにしています。一度自分で調べ考える時間を取ることで、その後の友達との共有の際には、友達の考えのよさに気付くことができ学び方が多様になってきていると考えられます。
- 今後、更に自ら問いをもち、高い追究意欲をもちながら、主体的に調べたり友達と話し合ったりすることを通して、学び続ける児童を育てていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小	全 国	12.1	12.8	29.1	27.4	12.9	5.7
6	釜子小	0.0	28.6	53.5	14.3	3.6	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 本校の「家庭学習の手引き」では、6年生は70分以上を家庭学習の時間の目安としていますが、8割以上の児童が計画的に取り組んでいることが分かります。一方で、約18%の児童が目安の時間に達していないことから、より一層、家庭学習の質や量を高めていけるように働きかけていきます。
- 家庭学習の充実を図るために、授業とのつながりを意識した課題にしたり、友達の自主学習を紹介したりするなど、児童が意欲的に取り組めるように工夫していきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	3 1. 2	4 8. 2	1 7. 1	3. 3
	釜子小	1 7. 9	6 4. 3	1 0. 7	7. 1

(単位 %)

【考 察】

- 肯定的な回答が約 8 2 % とほぼ全国平均と同様となっています。学習を振り返り、次の学習につなげようとする児童が多いことが分かります。しかし、「当てはまる」の回答が低いことから、十分に次の学習に生かしきれていないこともうかがえます。
- 自分の学びを振り返る時間を大切に授業を行っていきます。学習した内容を新しい内容につなげられるような授業づくりをしたり、分からないことはそのままにせず解決できるように個別に声をかけて支援したりしていきます。

4 授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	4 9. 9	4 2. 0	6. 4	1. 5
	釜子小	5 7. 1	4 2. 9	0. 0	0. 0

(単位 %)

【考 察】

- 全ての児童が肯定的な回答をしました。授業では、ペアや小グループで学習課題の解決に向けて考えを伝え合ったり、協力して活動したりしています。互いに意見を出し合うことで、課題が解決できたり多様な考えを知ることができたりと、学習の楽しさを感じることができています。
- 楽しく充実した学校生活を送るために、Q U テストや生活アンケートを実施しながら、児童の実態把握に努めています。一人一人に寄り添いながら、安心して学校生活が送れるように、今後も取り組んでいます。